

市では、毎年2回に分けて、市の財政がどのように運営されているのかを公表しています。

今回は、平成22年度下半期(平成22年10月1日～平成23年3月31日)の予算の執行状況などをお知らせします。

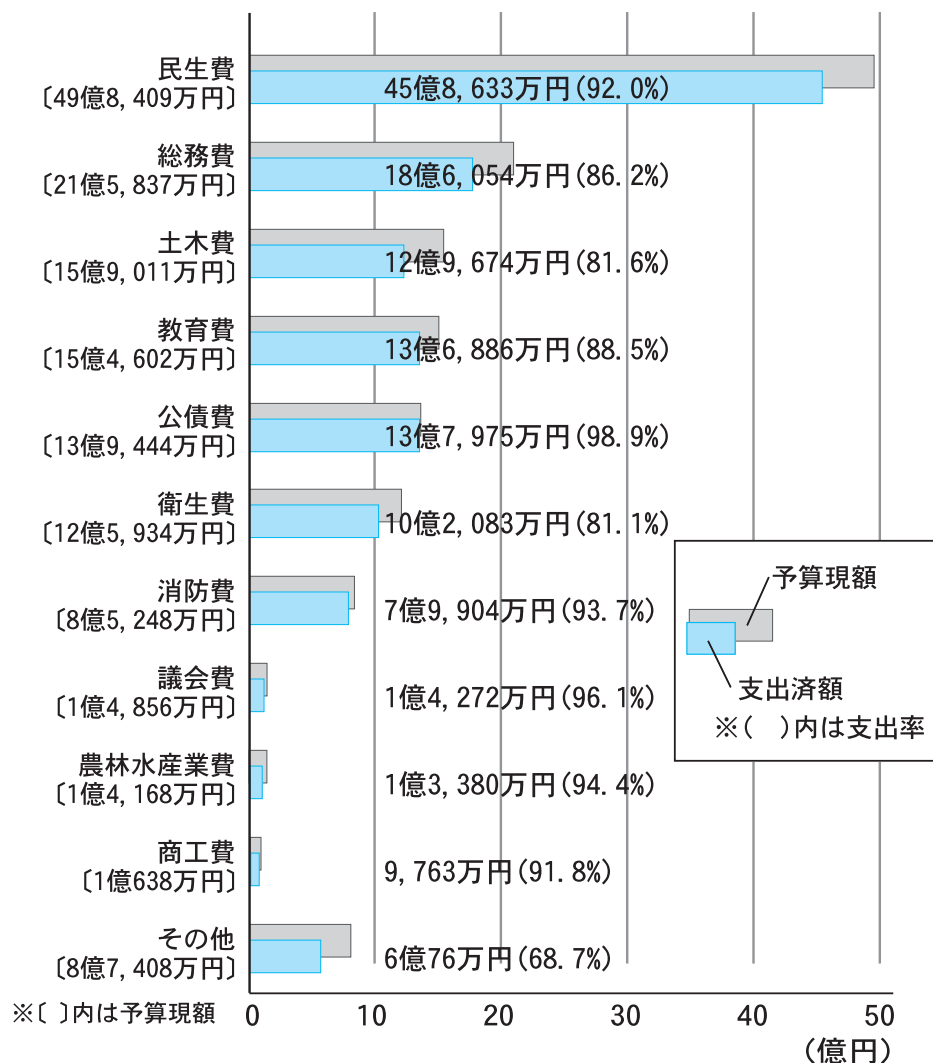
平成23年3月31日現在の一般会計の予算執行状況は、予算現額150億5,555万円に対し、収入については、収入済額145億1,357万円、収入率96.4%となっており、支出については、支出済額132億8,700万円、支出率88.3%となっています。

問合せ 財政課 ☎(43)1111 内線253・FAX(43)3783

支出

支出済額 132億8,700万円(支出率88.3%)
市民一人に使われた市の予算 24万4,049円

市の人口 5万4,444人
平成23年3月31日現在



民生費／障がい者や老人福祉、保育所の運営などに使われるお金
総務費／全般的な管理事務で財務管理や戸籍・統計・徴税・選挙などに使われるお金
土木費／道路の維持補修や、河川・公園などの整備に使われるお金
教育費／小・中学校・幼稚園の運営、生涯学習・スポーツ振興などに使われるお金
公債費／市が借り入れた借金の返済に充てるお金
衛生費／各種検診や予防接種、ごみ・し尿処理などに使われるお金
消防費／消防・救急・消防団の運営などに使われるお金
議会費／市議会の運営に使われるお金
農林水産業費／農業の振興・育成などに使われるお金
商工費／商工業や観光の振興などに使われるお金
その他／労働費・災害復旧費など

▼企業会計（水道事業）

区分	予算現額	収入率 支出率	説明
収益的収入 (水道料金・分担金・受取利息など)	11億3,269万円	101.1%	水道水を供給することによって得られる収入など
収益的支出 (人件費・県水受水費・動力費・支払利息など)	10億4,851万円	95.8%	水道水を供給するために発生する費用など
資本的収入 (工事負担金・企業債(借入金)など)	250万円	100.0%	諸施設の整備(建設改良)のための収入
資本的支出 (建設改良費・企業債償還元金など)	3億8,253万円	88.1%	諸施設の整備(建設改良)のための支出

企業会計とは、特別会計のうち地方公営企業法の適用を受け、利用料金などによって、サービスを行う、企業性格が強い会計のことです。市では水道事業会計を設置しています。

※資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部に留保された資金(内部留保資金)により補てんされます。

(3)

幸手市の家計簿

—平成22年度下半期の財政状況—

—一般会計—予算現額150億5,555万円—

収入済額 145億1,357万円(収入率96.4%)
市民一人が負担した市税 11万5,176円

収入

市税／市民税・固定資産税など、みなさんが納めた税金

国等からの交付金／地方交付税・地方消費税交付金など、国・県が徴収した税などの中から一定の基準に基づいて市が交付を受けるもの

国からの補助金／国から市に交付される補助金・負担金など

市債／市が長期に資金の借り入れをした債務(借金)

県からの補助金／県から市に交付される補助金・負担金など

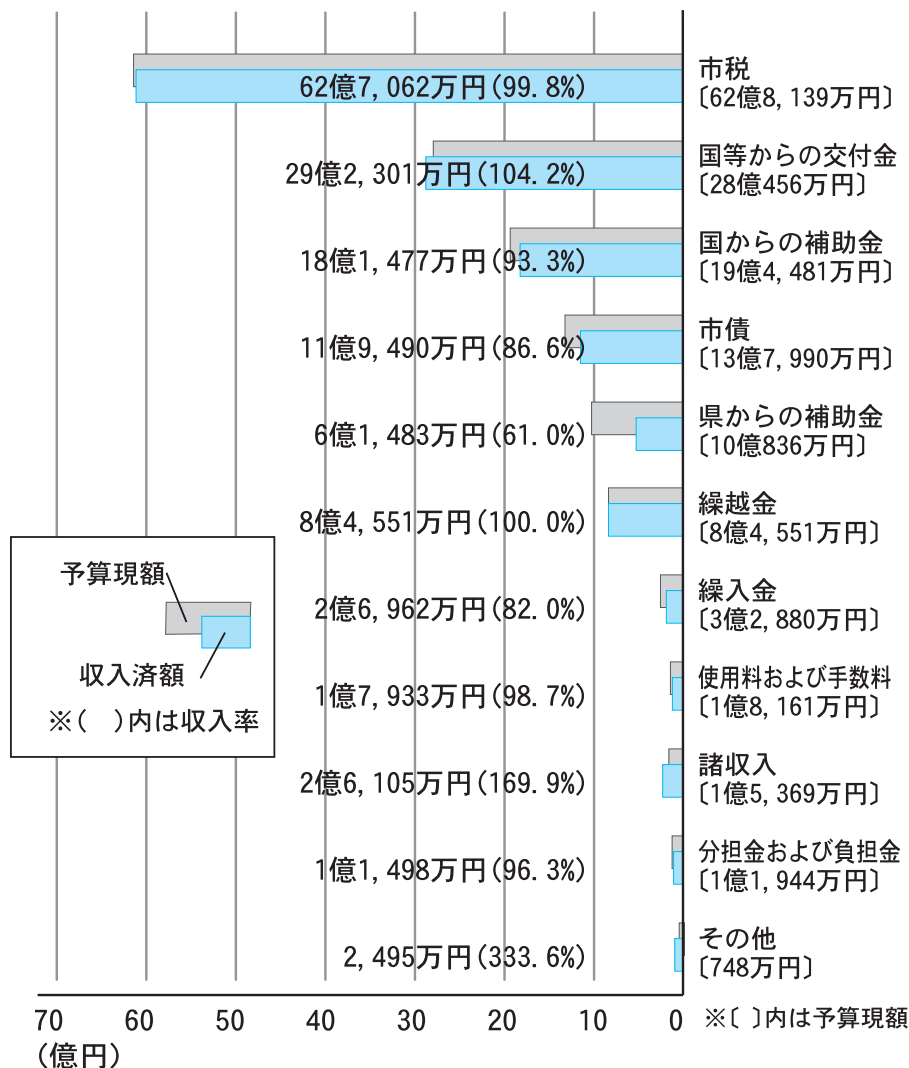
繰越金／前年度決算による今年度予算への繰越金

繰入金／特別会計からの繰入金および基金の取り崩しによる繰入金

使用料および手数料／道路占用料・各施設使用料・各種証明事務手数料や申請手数料など

諸収入／貸付金元利収入・預金利子など
分担金および負担金／各種検診一部負担金など

その他／土地建物貸付金・寄附金など



特別会計

特別会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険特別会計	60億5,530万円	61億5,408万円	101.6%	58億5,550万円	96.7%
老人保健特別会計	915万円	914万円	100.0%	914万円	100.0%
後期高齢者医療特別会計	3億5,908万円	3億5,861万円	99.9%	3億3,525万円	93.4%
介護保険特別会計	22億7,609万円	20億4,047万円	89.6%	19億2,052万円	84.4%
農業集落排水事業特別会計	2,644万円	2,572万円	97.3%	1,798万円	68.0%
公共下水道事業特別会計	8億360万円	6億7,862万円	84.4%	7億465万円	87.7%

特別会計とは、特定の収入を特定の目的に使う場合など、一般会計と経理を区分するために設置している会計のことです。